来年はわれわれがお待ちしています!

第 41 回日本診療放射線技師学術大会 (福井県)のご挨拶

大会長 村中 良之 (公社)福井県診療放射線技師会

第41回日本診療放射線技師学術大会(福井県)は2025年9月12日(金)か ら14日(日)の会期で、福井駅前のAOSSAを中心に、能舞台にも使われる 施設やプラネタリウムにも使われるドームシアターなど複数の会場を使っ て開催します.

大会テーマは「放射線技術のイノベーション」としました. イノベーショ ンとは技術的な革新により, 社会に新しい価値を生み出す取り組みという 意味があり、私たちの専門知識が如何に社会に貢献できるかを探求します. 医療だけではなく, 原子力災害時の放射線管理などにも焦点を当てます. そして2024年1月に能登半島で発生した地震は、私たちにとって大きな 試練であり、診療放射線技師としての役割の重要性を改めて認識する機会 となりました. この経験を踏まえ, 災害時の緊急対応についても議論を深 めたいと思います. 特別講演やシンポジウムなど決まっていませんが、魅 力のある内容を福井県の実行委員会メンバー中心で検討しているところで す. また福井県のPRキャッチコピーである 「地味にすごい, 福井」 をアピー ルできる学術大会にしたいと考えています.

本大会でもオンデマンド配信も行いますので、遠方からの参加や、スケ ジュールの都合で会場に来られない方々も、講演等をご覧いただけます. より多くの方々にとって有益な学びの機会となることを願っております.

2024年3月に北陸新幹線が福井まで延伸し、関東からのアクセスが大変 良くなりました. 福井県の豊かな自然と歴史に囲まれたこの地で, 恐竜博 物館や一乗谷朝倉氏遺跡の探訪、大本山永平寺の静寂、東尋坊や若狭湾の 絶景、そして越前がに、おろしそば、ソースカツ丼などの地元グルメをお楽 しみいただきながら、充実した交流の場を提供できると思います. 土曜日 の情報交換会も福井ならではの企画を検討中です.

皆様の積極的な参加と、熱意ある議論により、この大会を成功に結びつ けたいと考えております. どうぞ、この機会を最大限に活用し、有意義な時 間をお過ごしいただければ幸いです。皆様にお目にかかれることを心待ち しております.

※第41回大会HPのURLおよび二次元コードはJCRTM2024の大会開催終 了後に有効となります.





第 53 回日本放射線技術学会秋季学術大会 (北海道) のご挨拶

大会長 蝶野 大樹(札幌医科大学附属病院)

第51回(名古屋), 第52回(沖縄)に続き, 来年は札幌で第53回秋季学術 大会を開催します(10/17-19). 第52回秋季学術大会は、初の放射線技術学 会・診療放射線技師会の合同開催である第1回日本放射線医療技術学術大 会として開催されていますが、第53回は従来の技術学会のみの開催に戻り ます. 沖縄での盛り上がりが2200km離れた札幌まで届くよう, 多数の皆様 の参加をお待ちしています.

第53回の大会テーマである「知空青~井の中の蛙大海を知らず、されど 空の青さを知る~」は、皆さんご存知の「井の中の蛙大海を知らず」だけだと ネガティブな意味となりますが、「されど空の青さを知る」が加わることに より、狭い世界で自分の道を突き詰めたからこそ、その世界の深いところ まで知ることができるという意味になり、これこそまさに我々放射線技術 学会が主として行なっている研究に通じており, 自分の興味ある分野に関 してとことん突き詰め、疑問を解決していくことでその分野のエキスパー トになっていく, つまり放射線技術学の深いところまで知ることに繋がり ます、今一度研究の原点を見つめ直し、多くの参加者が満足できるような 企画を検討中です. 開催形式は前大会同様. 対面開催とオンデマンドによ るweb配信のハイブリッド開催を予定しています.

会場は2014年にも使用した札幌コンベンションセンターを予定してお り,2024年に大規模改修工事が終了しているため,2025年の大会開催時 には真新しい会場となっています. 学会で何度も札幌に来られた方も, 初 めて札幌に来られる方も皆様に満足していただけるような大会を目指して 更なる準備を進めていきますので、皆様のご予定に入れていただければ幸 いです.

大樹